

● 市立豊中病院の役割

病院運営健全化計画策定から7年が経過し、高度で良質な医療の提供への取り組みとして、脳卒中・心筋梗塞など、循環器系救急患者へ対応可能な救急医療体制の構築や、周産期センターの開設、地域がん診療連携拠点病院としての多岐にわたるがんへの対応など、医療提供面では目覚しく発展を遂げ、地域医療へ大きく貢献してきました。

24時間 365日の救急医療体制

- 二次救急医療機関
標榜科：内科、外科、小児科（二次輪番制）



地域周産期母子医療センター

- ハイリスク妊婦の積極的受け入れ。
- NICU 6床運営。
- 二人主治医制度※の運用。



※二人主治医制度
正常に経過している妊婦への妊婦健診や定期診療などを地域の先生方に担っていただき、当院は高度医療を担当する。

脳卒中センター

- 脳神経外科医・神経内科医が24時間365日間体制で対応。
- t-PA治療（脳梗塞超急性期）の実施。



地域がん診療連携拠点病院

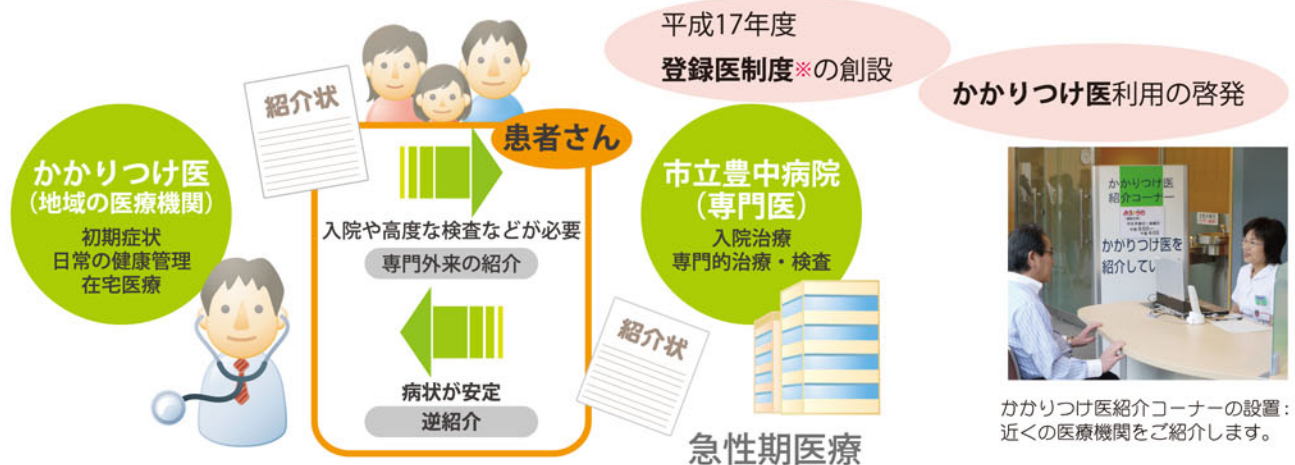
- 高度医療機器・検査による診断
- 集学的治療 ● 緩和ケアの提供
- がん相談支援事業

心臓病センター

- 循環器科医・心臓血管外科医が24時間365日間体制で対応。
- CCU 3床を運営。

● 地域医療の連携を確立する取り組み

地域医療連携の確立に向けて、高度な医療資源を必要とする市民に、適切な医療の機会を保障できるよう地域医療室を設置し、地域の医療機関との機能分担およびネットワーク化に取り組んでいます。



ふだんの健康管理は地域の「かかりつけ医」で細かく診察していただき、入院治療や専門的な検査が必要になれば、「かかりつけ医」の先生から当院へ紹介してもらえます。

※登録医制度：3ページ豆知識参照

今後も『豊中市の地域中核病院として「心温かな信頼される医療」を提供します』の基本理念に基づき、市民の信頼にこたえ、引き続き地域医療に貢献していきます。